

## 献 呈 の 辞

山口孝教授には、心身ともにご壮健で古稀を迎えられ、誠にめでたく思います。これを祝って古稀記念論文集を献呈し、商学部関係者一同お慶び申し上げます。

山口先生は1952(昭和27)年明治大学商学部助手補に就任されてから1956年専任講師・1959年助教授・1965年教授へと教壇に立ち、昨年4月古稀を迎えられ、退任されるまで明治大学商学部一筋に半世紀近くにわたって、教育・研究をはじめ大学行政の面から商学部・明治大学の発展のために貢献されてきました。

教育の面では簿記学・会計学・経営分析論・税務会計論等を担当され学生に敬愛されながら講義を続け、多くの学生を世に送り出されました。

研究の面では、門外漢である私にはその研究業績の意義を推し量ることができないが、本巻の巻末に掲げられている業績目録に示されているように多くの研究業績を残され、また、日本会計研究学会評議員・会計理論学会代表幹事・日本学術会議会員などを歴任し、学会と学術の発展にも尽くされています。

学校行政面の貢献は、1972年商学部産業経営学科長・1974年学生部長・1977年学務常勤理事、などの要職につかれ、大学の発展のために尽力されました。とくに、大学紛争の激動期に務められた学生部長・学務担当理事としての要職は私も副学生部長職を体験したが大変な仕事であり、先生は学生の不法な行為に毅然として立ち向かいその職を遂行されたことに心より敬意とご苦労様でしたとお礼申し上げます。また、先生は公的な要職のほかにも明治大学校友会幹事長や硬式野球部長を務められ校友会・課外活動発展に寄与され、大学人の一人としてまた、お世話になった同世代の後輩として深く感謝の気持ちとお礼を申し上げます。

山口先生は昨年4月に古稀を迎えられ、本学の規定に従って3月をもって定年退職されることになった。本当に寂しい気持ちになりますが、先生が今後益々ご健康に留意され、校友会副会長として、新しい21世紀に向かって前進して行く大学・および商学部の姿を末長く見守ってくださるよう心よりお願いいたします。

最後に、今一度先生の古稀へのお祝いと、長年にわたり本大学・本学部への教育・研究・行政面に尽くされた先生の功績にあらためて感謝の意を表して、この古稀記念論文集を献呈し、お別れしたいと思います。

1998年2月吉日

商学部長 浅田 毅 衛